

## 福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（11月分）

派遣先：マカオ大学

氏名：坂井穂花

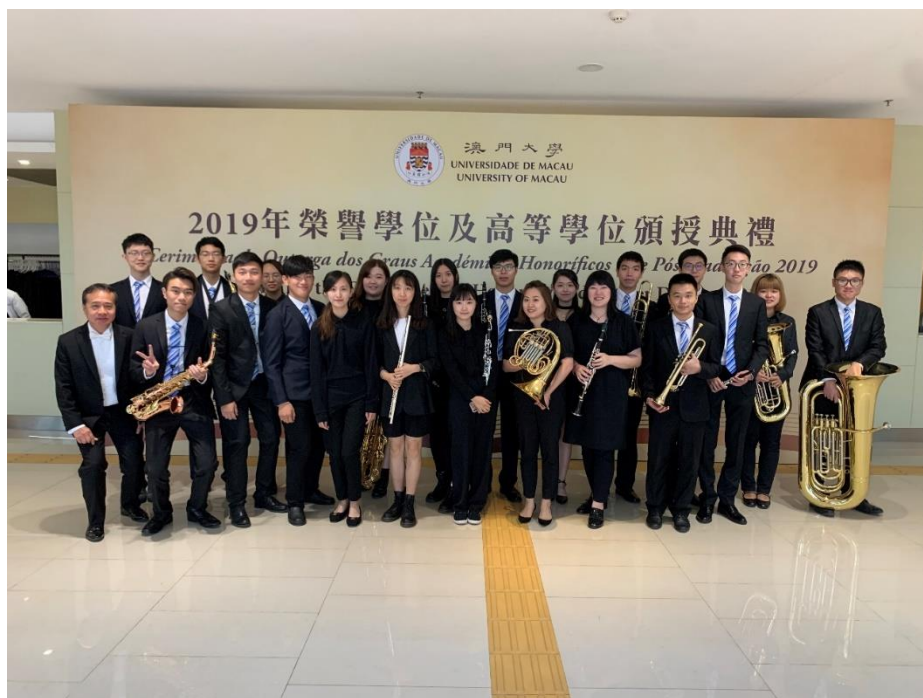
11月は締めくくりの一ヶ月となりました。部活、授業が終わり、中検も終了しました。それぞれについて振り返りをしようと思います。

まず、部活について、4月という、マカオの学期にとっては中途半端な時期に入部して、週1のみの練習で、演奏する機会も日本と比べたら少なかったですが、音楽を純粋に楽しむ機会になってよかったと思います。合奏は基本広東語ですが、周りの子に英語で適宜翻訳してもらったり、週一回の練習が広東語を継続的に聞くいい機会にもなって、数字だけは聞いて理解できるようになりました。卒業式は学部生と院生の二つで演奏し、コンサートは1回出演しました。指揮者の先生は、マカオで開かれるプロの演奏家のコンサートに何度も無料で私を招待してくださったり、私のことを気遣ってくださったり、とても親切で心の支えになりました。部員とはあまり深くかかわりませんでしたが、逆に、音楽以外のことを考えず、一緒に音楽ができたので良かったと思います。

そして、11月いっぱいまで授業も終わり、前の学期と比べて課題の面でもグループワークの面でも、負担の少ない授業だったので、中国語と並行して勉強してこれました。二つ中片方の授業は、中国語で先生が話す場面も多々あったので、途中から先生に伝えたりなど少し困るときもありましたが、何とか終わりました。

11月の末には中検を上海へ受けに行き、その前後で上海旅行もしました。中国語をしっかりと目に勉強してから中国本土へ旅行するのは初めてだったので、中国語をしっかりと勉強する前に行った北京旅行と比べると、目に入る町中の中国語が気になったり、街並みをマカオと比較したりと、全く違った楽しみ方ができました。泊まったホテルもすごくきれいで、日本のホテルのような雰囲気でした。ホテルのテレビを見て、字幕付きだったのでぐくリスニングの勉強になった気がします。寮の自分の部屋でもマンダリン（中国語）のドラマが流れるテレビが欲しいなと思ってしまいました。汗 外灘や豫園という夜景の綺麗なスポットにも行けて、小籠包も食べることができてすごく楽しい

旅でした。そして、タクシーアプリを使ってタクシーを拾ったり、地下鉄で移動したりしたのですが、タクシーの運転手さんは想像していた以上に温厚な人ばかりで、通行人や地下鉄の乗客の人でも見ていてほっこりするような出来事があって楽しかったです。（地下鉄の乗客のおじいさんと若者が席を譲りあっていて、おじいさんは二駅だけだから大丈夫と若者に座っていいよと言っていたのに、次の駅で席が空くと、あと一駅だけだけどすぐおじいさんは座ったのを見て、ほっこりして、面白かったです。）上海はすごく発展している都市であり、まだまだいろんな楽しみ方があって新しい発見が眠っていると思ったので、これから一年、大学4年の間も中国語を勉強してもっと上達させてからまた上海旅行に行くという小さな目標を決めました。12月からは中国語から離れて英語に専念することが多くなってしまいますが、切り替えて、この半年でさらに衰えてしまった英語力と日本語力を読書、オンライン英会話等で覚醒（！？）させていきます。小さな目標や夢を決めて、それに向けて達成するために必要なことをなるべく早く実行することが最善だと思っているので、私は勢いで決めてしまうことが多いのですが、実行に早く映すことを心掛けていこうと思います。



院生の卒業式の演奏後の写真（本当はもう少し人数がいます）



豫園（上海）の夜景